

## 第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2015年6月13日（土）～14日（日）

@つくば国際会議場（茨城県つくば市）

### ワークショップ 36

|       |                      |
|-------|----------------------|
| タイトル  | 支部活動の活性化と地域・社会への貢献   |
| 日時    | 6月14日（日） 13：30-15：00 |
| 企画責任者 | 外山 学（委員会企画：支部支援委員会）  |
| 定員    | 50名                  |

#### 開催の目的・概要

##### 【開催の目的】

「プライマリ・ケア」を名に冠し、定款で「地域住民とのつながりを大切にした、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践及び学術活動を行うことを目的とする」と謳った本学会にとって、地域活動は第一義的に重要である。地域と密着した存在である支部の活動は、会員向けにとどまることなく、地域の多職種や住民を広く意識したものであることが望まれ、単なる地域割りの学会活動とは異なる。

本ワークショップは、学会の支部及びグループ活動の意義を再確認するとともに、学会の裾野を広げ理念の浸透を図り、行政や医師会をはじめ、地域の関係団体と積極的に連携を進め、地域や社会に貢献する方法を参加者とともに考えることを目的とする。

##### 【概要】

一般参加者に加えて、各ブロック支部及び都府県支部から推薦された出席者で構成する。地域支部活動で課題となるいくつかのテーマについての実践発表後、8つのブロック支部単位でグループワークを行い、地域支部活性化のための、各地域の現状に根ざした具体的取り組みのアイディアを創出する。全都府県での支部結成に向けての支援や、学会会期中にブロック支部単位で集まる場の提供も併せて行う。

学会全体としての活動の充実や会員数の増加に伴い、地域支部に求められる役割も多様化している。伝統ある支部、新しく立ち上げる支部、それぞれに課題や困難を抱えているのが現状である。今年度の重要なテーマとして「地域医師会との連携」を取り上げる予定である。